

アートサンダル

Candal

想いはもっと形にできる

下駄の伝統工芸士が
愛媛のアーティストとコラボレーション。

個性豊かなアートと、ぬくもりあふれる絵を
もっとたくさんの人に感じてもらいたい。
そんな想いを身近にあるサンダルというアイテムで形にしました。

造り手も、手に取った方も
みんなが笑顔になれるような
愛のこもった一足を愛媛からお届けします。

コラボアーティストは裏面でご紹介しております。
ぜひ作品の全容もご覧くださいませ。



mayutamago Arishige Mayu



1993年、愛媛県松山市生まれ。2才の時、知的障がい、言語機能障がいが発覚。小さい頃から身体が弱かった麻由ちゃんをお母さんが美術やスポーツの方向性を持たせて現在も活動中。就労継続支援B型事業所に通いながら週末にはホームヘルプサービス等を利用して余暇活動を続ける。小学生の頃から週末は絵画教室に通い、いろいろな手法や材料を使い作品制作にチャレンジしている。2018年の愛媛県主催「48時間デザインマラソン」において展覧会企画で金賞を受賞!その展覧会企画も実施。またフライングディスクでも2017年の第17回全国障がい者スポーツ大会・愛媛つなぐえひめ大会に愛媛県代表として出場。

(受賞歴) 2018年 48時間デザインマラソン2018 金賞
2018年 愛媛ひろがるえひめ障がい者アート展 優秀賞
2020年 SOMPO/パラリンアートカップ2020 愛媛県賞



Sogabe Rinzo

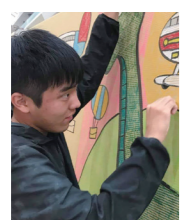


1964年、愛媛県周桑郡丹原町生まれ。知的障がい。幼少から中学生のころまで捕鯊という山懐で育つ。就労継続支援B型事業所に通いながら、約10年前から、慣れ親しんだ動物や色とりどりの花を主体に、ユーモラスで温かみのある絵画製作に毎日コツコツ取り組んでいる。その手法は、下書きなしのペン画で、迷いなく一気に描き上げる。定期的に個展を開催したり、公募展に応募したりしている。2019年は、東北障がい者芸術全国公募展で企業賞(ANA賞)を受賞し、仙台での授賞式に臨んだ。

(受賞歴) 2015年 愛媛ひろがる えひめの障がい者アート展「Hanaとつづし」 特選
2017年 ミックアイ・アートプロジェクト2017大賞「Gran Paradiso」 佳作
2019年 東北障がい者芸術全国公募展「専横漢の深山」 企業賞(ANA賞)
2019年 48時間デザインマラソン2019 金賞
2020年 東北障がい者芸術全国公募展「百花繚乱を愛でる」 山形県知事賞



Hashimoto Daijirou



1996年、愛媛県今治市生まれ。4歳の頃に自閉症の診断を受け、言葉より先に絵を描くことに興味を持つ。2014年以降は、松山市北条産鳥博物館展示館や愛媛県庁内「ゆるりカフェ夢家」での個展や大街道でのライブパフォーマンスを開催。2017年には「愛媛の障がい者アート展」で特選を受賞。他、サイクルショップの壁面も手掛ける。2019年には「日比野克彦×道後温泉 道後アート2019・2020 “ひみつ”ジャナイ基地プロジェクト」に参加し、作品を展示。伊予市の交流施設「エリムCAM」で壁アートを制作するなど、その活動は多岐に渡る。現在は松山市で生活をしながらコトバにできない思いや感情をデジタルを使ったインパウトのあるタッチで表現している。

(受賞歴) 2017年 愛媛の障がい者アート展 特選



Yamamoto Yoshinobu



1959年生まれ。松山市の障がい者支援施設スマイルで生活をしている。日中の活動の中で、創作活動に取り組み2018年の愛媛県主催「48時間デザインマラソン」で銀賞を受賞。また、創作活動とは別に、ほとんど毎日欠かさず日記をつけており、そこには食べた物、会った人、出来事や本人の名前などが高密度に記載されている。媒体も、ノートやチラシの裏、ときには本人の書いた習字など多岐にわたる埋め尽くしていく。読み返すためのものというよりも「書くこと」への意思があるように思われる。純粋な表現への希求は、見る人に芸術性を感じさせる作品となる。2020年の「えひめ障がい者文化祭」では、日記の一部を「作品」として展示し、高い評価を得た。

(受賞歴) 2018年 48時間デザインマラソン2018 銀賞

